

特許庁における特許情報施策の最近の取組

2026 知財・情報フェア&コンファレンス

2026年9月17日

特許庁特許情報室長 安積 高靖



1

特許情報提供の目的・取組

2

J-PlatPat

3

バルクデータ

4

特許情報取得API

5

機械翻訳

6

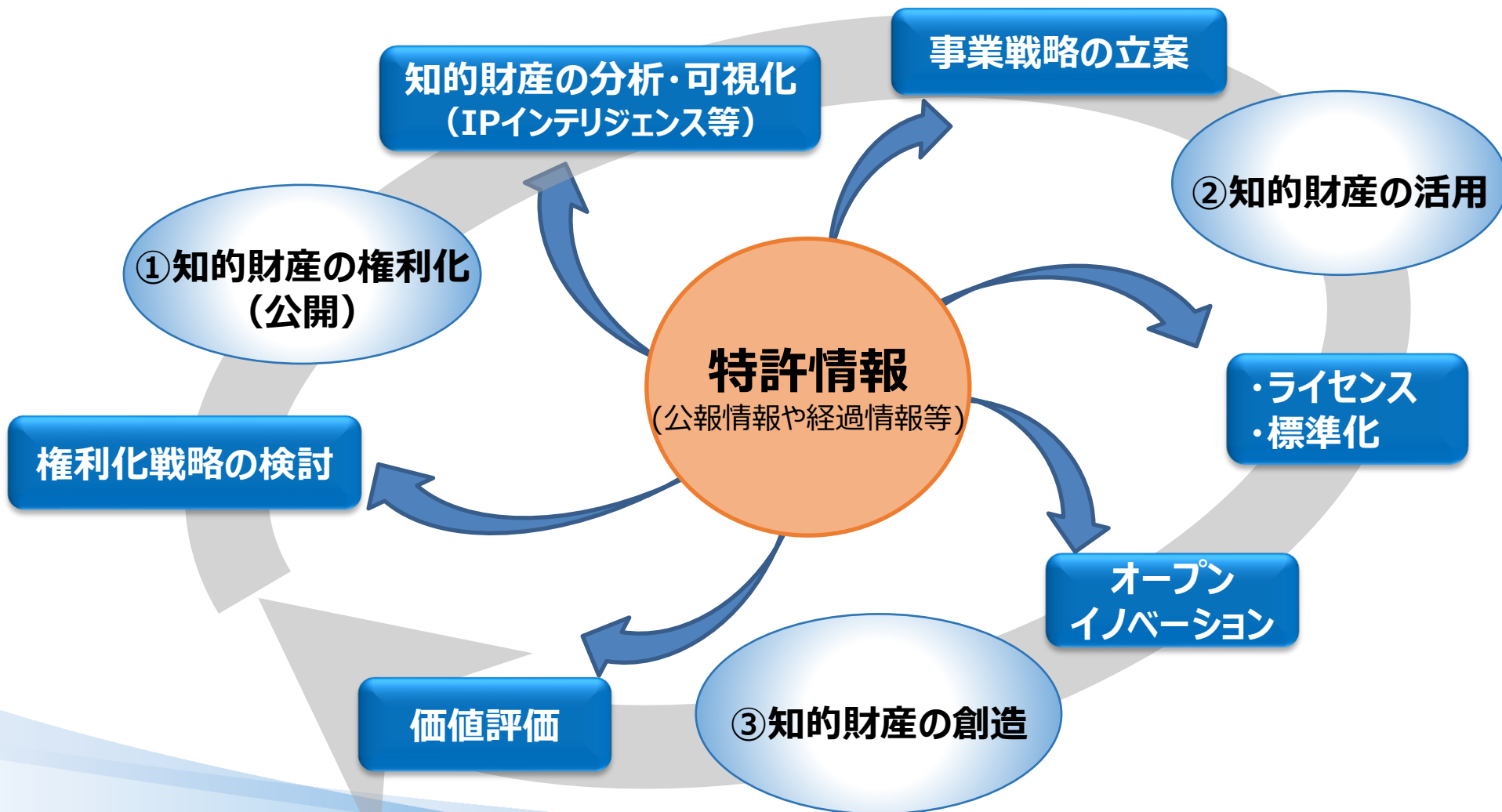
データポータルPJ

1. 特許情報提供の目的・取組

知財エコシステムと特許情報

➤ 特許情報は知財エコシステムにおける促進剤

特許情報…特許・実用新案・意匠・商標の出願・権利化に伴って生み出される情報(公報情報や経過情報等)



特許情報施策の全体方針

- 産業財産権情報利用推進委員会（長官私的懇談会）報告（平成15年3月）

国と民間とのベストミックスで一般ユーザーの多様なニーズに応じていく。

国の役割

正確で基本的な一次情報の提供

民間の役割

一次情報に高い付加価値をつけた情報の提供

- 産業構造審議会 知的財産分科会 情報普及活用小委員会（平成28年5月）

我が国ユーザーが享受するサービスの質が全体として世界最高水準となるように特許情報サービスを提供していき、特許情報を広く普及していくための基盤を引き続き整備していくべき。

考慮要素

グローバル化、ITの進展
海外庁のサービスの状況
民間事業者のサービスの状況
我が国ユーザーの要望

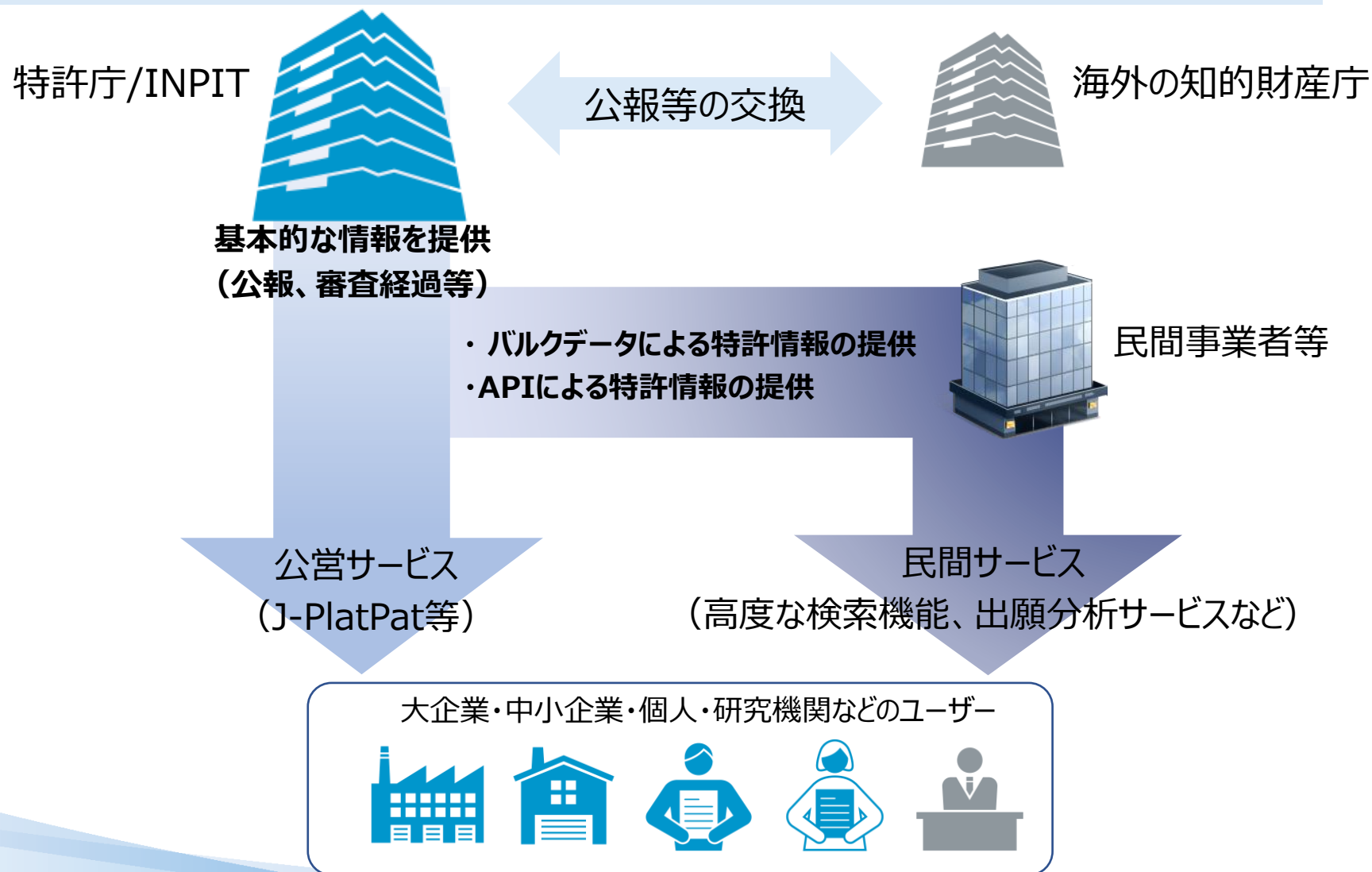
環境整備の方向性

特に中小企業等が
容易に特許情報等を利用できるようにする

海外庁の審査官が
我が国審査結果を参酌しやすくする

官民の役割イメージ

- 国が正確で基本的な一次情報を提供し、民間事業者が高度なサービスを提供



特許情報に関する取組

公報

- 各種公報を公報発行サイトで提供

J-PlatPat



- 国内特許情報の主要公的サービス
- 特許庁が企画、INPITが運用
- 主要な海外の特許情報を提供
 - 米、欧、中、韓、英、独、仏、スイスなど
 - (意匠は米、韓のみ、商標は日本国内のみ)

機械翻訳

- 特許公報・審査情報の日英リアルタイム翻訳
- 中韓特許公報の和訳
- 中国特許・実用新案審決情報の和訳

FOPISER

特許庁 外国特許情報サービス FOPISER (Foreign Patent Information Service)

特許・実用新案を探す

書誌で探す

国際特許分類や日本語のキーワード等で台湾・オーストラリア・シンガポール・ベトナム・タイ・サウジアラビア・マレーシア・フィリピン・ロシア・インドネシアの特許・実用新案公報を検索することができます。

番号で探す

公報番号等で台湾・オーストラリア・シンガポール・ベトナム・タイ・サウジアラビア・マレーシア・フィリピン・ロシア・インドネシアの特許・実用新案公報を照会することができます。

意匠を探す

- ASEANの公報、中国審決情報等を提供

バルクデータ

- 特許情報の一部のバルクデータを提供

特許情報取得API

- 特許情報の一部を機械的に提供

データポータル

- 各種特許情報へのリンクを集約したポータルサイト

データ交換・管理

- 外国庁との特許情報の交換
- 交換のための外国交渉・ポリシー策定

2. J-PlatPat

J-PlatPatの概要

- J-PlatPatは、インターネットで利用できる無料のデータベース



<沿革>

- ◆ 平成11年に特許電子図書館（IPDL）としてサービス開始
- ◆ 平成27年3月にJ-PlatPatとしてリニューアル
- ◆ 令和元年5月にユーザーインターフェースを刷新・機能を改善

<機能概要>

- ◆ 約 1 億8000万件の国内外の公報を収録
（特許、実用新案、意匠、商標）
- ◆ 文献番号、キーワード等により検索可能
- ◆ 直感的に使いやすい簡易なユーザーインターフェースを採用
- ◆ 審査・審判関係の書類や経過情報を迅速に提供
（原則受理・発出の翌営業日）

J-PlatPatのアップデート状況

2025年2月リリース

- 特実検索において検索履歴を使った検索機能を追加
- 特実検索結果ランキング機能の強化

2025年3月リリース

- 商標コンセント制度対応
- 商標の類似群コード入力数の上限緩和
- 商標の商品／役務名と類似群コードとの対応関係表示の明確化
- 商標の部分／完全一致検索の選択可能化

2025年6月リリース

- マドプロ審判書類実体表示対応

2026年3月リリース

- FI改正履歴対応

FI改正履歴対応

- 特許・実用新案分類照会(PMGS)において、各FI改正時点(2019年11月以降)でのFI情報の参照・廃止されたFIの照会が可能へ(2026年3月)

表示例 1

現在、	2019年11月	改正時点の情報を表示しています。		
• A01N63/00		殺生物剤，有害生物忌避剤または誘引剤，または植物生長調節剤であって，微生物，ビールス，かびまたは動物，例．線虫，を含むもの，あるいは微生物，ビールス，かびまたは動物によって生産された，またはそれらから採取された物質，例．酵素または発酵生産物（構造決定化合物を含むものA01N27/00～A01N59/00）[3]	HB CC 4H011	移行先
• A01N63/00@A 廃止		糖，タンパク，油脂等	HB CC 4H011	A01N63/00
• A01N63/00@B 廃止		フェロモン	HB CC 4H011	A01N63/10
• A01N63/00@C 廃止		核酸，部分細胞	HB CC 4H011	A01N63/00
• A01N63/00@D 廃止		酵素	HB CC 4H011	A01N63/50
• A01N63/00@E 廃止		ジベレリン，サイトカイニン，オーキシン	HB CC 4H011	A01N63/00
• A01N63/00@F 廃止		微生物自体（←生菌）	HB CC 4H011	A01N63/00
• A01N63/00@Z 廃止		その他のもの	HB CC 4H011	A01N63/00

表示例 2

• A01K1/01,801 新設	・・・ペット用便器（携帯用便器はA01K23/00@B）	HB CC 2B101
• A01K1/01,801@A 新設	上下複数段の受け部を有するもの	HB CC 2B101
• A01K1/01,801@B 新設	吸収性シートのみを用いる薄型の受け部を有するもの（A01K101,801@C優先）	HB CC 2B101
• A01K1/01,801@C 新設	縦型のもの，例．雄犬用	HB CC 2B101

J-PlatPat刷新（2029年1月）

- 2029年1月にJ-PlatPatの刷新を予定
- 2026年度に契約に向けた手続を進め、2026-2028年度に開発

刷新に向けた検討事項（INPIT HP掲載）（2026年5月8日）

https://www.inpit.go.jp/j_platpat_info/renewal_20260508.html

UIの刷新

- ・コアユーザー・ライトユーザー双方が使いやすいUIへの改善

機能追加及び拡充

- ・文献に対するしおり付与・解除機能の追加
- ・特許・実用新案検索結果のグラフ化支援機能の追加
- ・外国特許文献の翻訳文の拡充（US、EP（英語）及びWO（英語・中国語・韓国語）を追加）
- ・特許・実用新案検索結果上限及びCSV出力上限の拡充（3千件から3万件へ）
- ・特許・実用新案外国文献検索における検索結果表示項目の拡充（出願人名など）
- ・特許・実用新案文献表示におけるワードハイライト機能の拡充
- ・意匠検索における新旧分類一括検索の追加

現行機能の見直し、廃止

- ・ヘルプサービスの見直し（AIの活用など）
- ・選択入力項目の見直し（「番号照会」における「入力種別」、「特許・実用新案検索」の「選択入力」における「検索項目」など）
- ・意匠外国公報の検索及び照会の廃止
- ・日本国周知・著名商標及び不登録標章の検索機能の廃止（一覧表示化）

特許情報提供サービスの現状と今後に関する調査（2025年度）

- 2025年度、特許情報提供サービスの現状と今後に関する調査の中で、J-PlatPat機能改善へのユーザーニーズ等の調査（ユーザーヒアリング等）を実施
- AIを用いた機能改善、パテントマップ機能への期待

調査結果の概要

- ツールの操作支援、検索のための入力支援、明細書の理解支援、類似画像検索の部分でAIへの期待が大きい。
- 曖昧な入力でも検索できる柔軟なユーザーインターフェースへの要望が高い。
- 操作に慣れていないユーザーにとっては、特に、操作を随時支援（ガイド）してくれるチャットボットやヘルプ機能の要望が高い。
- パテントマップに関しては、J-PlatPat の中で検索結果を自動的に可視化できる機能、及び、軸の選択など一定のカスタマイズができる機能が求められている。さらに、高度な可視化を希望するユーザーからは、外部ツールで分析するためのデータエクスポートの要望あり。

調査報告書（2026年4月）

<https://www.jpo.go.jp/resources/report/sonota/service/document/index/2025hokokusho.pdf>

3. バルクデータ

バルクデータダウンロードサービス

- 特許情報標準データ、外国公報、公開特許英文抄録(PAJ)等の特許情報について、直近約 1 年分をダウンロード可能な登録制サービス
- 特許の日本リーガルステータスデータのバルクデータを新たに提供予定（2026年9月）

バルクデータ

特許情報標準データ

外国公報

公開特許英文抄録(PAJ)

ダウンロード



民間の情報サービス事業者

＜特許リーガルステータスデータ（XML）のサンプル＞

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<pat:PatentLegalStatusData xmlns:pat="http://www.wipo.int/standards/XMLSchema/ST96/Patent"
  xmlns:com="http://www.wipo.int/standards/XMLSchema/ST96/Common"
  xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
  xsi:schemaLocation="http://www.wipo.int/standards/XMLSchema/ST96/Patent https://www.wipo.int/standards/XMLSchema/ST96/Common https://www.wipo.int/standards/XMLSchema/ST96/Patent https://www.wipo.int/standards/XMLSchema/ST96/Common"
  com:officeCode="JP"
  com:creationDate="YYYY-MM-DD（作成日）"
  com:st96Version="V9_0"
  com:ipoVersion="V1_0">
  <pat:PatentLegalStatus>
    <pat:ApplicationIdentification>
      <com:IPOfficeCode>JP</com:IPOfficeCode>
      <com:ApplicationNumber>
        <com:ApplicationNumberText>出願番号</com:ApplicationNumberText>
      </com:ApplicationNumber>
      <pat:ApplicationFilingCategory>National</pat:ApplicationFilingCategory>
    </pat:ApplicationIdentification>
    <pat:PatentGrantIdentification>
      <com:IPOfficeCode>JP</com:IPOfficeCode>
      <pat:PatentNumber>登録番号</pat:PatentNumber>
    </pat:PatentGrantIdentification>
    <pat:StatusEventDataBag>
      <pat:StatusEventData>
        <pat:StatusEventCode>
          <com:StateCode>State（現在）</com:StateCode>
          <com:PreviousStageCode>Stage（以前）</com:PreviousStageCode>
          <com:CurrentStageCode>Stage（現在）</com:CurrentStageCode>
          <pat:KeyEventCode>KeyEvent</pat:KeyEventCode>
          <pat:DetailedEventCode>DetailedEvent</pat:DetailedEventCode>
          <pat:NationalEventCode>NationalEvent</pat:NationalEventCode>
        </pat:StatusEventCode>
        <com:EventDate>YYYY-MM-DD（イベント生起日）</com:EventDate>
        <com:EffectiveDate>YYYY-MM-DD（イベント生起日）</com:EffectiveDate>
      </pat:StatusEventData>
    </pat:StatusEventDataBag>
  </pat:PatentLegalStatus>
</pat:PatentLegalStatusData>
```

出願情報

登録情報

リーガルステータス
情報

4. 特許情報取得API

特許情報取得API

- 2022年1月に、J-PlatPat、バルクデータダウンロードサイトに次ぐ特許情報の提供方法として、特許情報取得APIの試行提供を開始（登録制サービス）



一般ユーザー

自作アプリ等によるAPI リクエスト

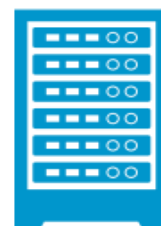


特許情報を機械処理しやすい
構造化データ（JSON・XML
形式等）で提供

- 自己出願の案件管理
- 書類のチェック、雛形の作成
- 他者出願の監視 など

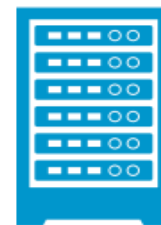
特許情報取得APIの試行提 供開始時期

- 2022年1月～ 国内特許
- 2023年4月～ 国内意匠、国内商標
- 2023年5月～ 海外特許



国内特許情報
取得API

（国内の特許・意匠・
商標の出願情報を取
得するAPI）



OPD-API

（ワン・ポータル・ドシエ
（OPD）の出願情報
を取得するAPI）

※OPD-APIは、現在、
新規申し込み受付を終了



米国特許商標庁



欧州特許庁



中国国家知識産権局



韓国特許庁

特許情報取得API

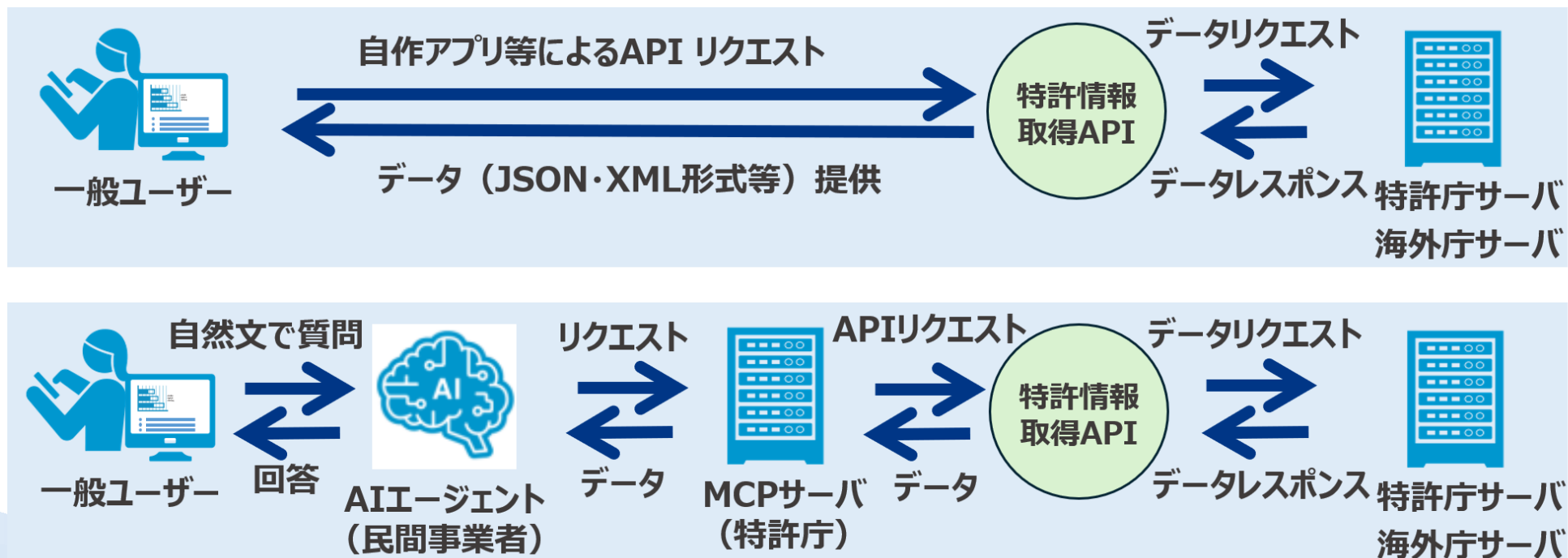
- アクセス上限数を2倍に緩和（2026年3月）
- 取得可能な情報の種類の拡充へ（出願番号に基づく、審判時の書類、出願当初の願書・明細書等、実用新案、J-PlatPatのRSSフィードURL等）

特許出願に関する情報を取得するAPIの例（一部）

	名称	APIの概要とアクセス上限（／日）	ファイル形式
1	特許経過情報	出願番号に基づき経過情報の一覧を取得	800 JSON形式
2	シンプル版特許経過情報	1の簡易版（優先権情報、分割情報を含まない）	800 JSON形式
3	特許分割出願情報	出願番号に基づき分割出願情報を取得	60 JSON形式
4	特許優先基礎出願情報	出願番号に基づき優先基礎出願情報を取得	60 JSON形式
5	特許申請人氏名・名称	申請人コードに基づき申請人氏名・名称を取得	400 JSON形式
6	特許申請人コード	申請人氏名・名称に基づき申請人コードを取得	400 JSON形式
7	特許番号参照	出願/公開/登録番号に基づき相互に番号を取得	100 JSON形式
8	特許申請書類	出願番号に基づき特許申請書類の実体を取得	200 XML形式 (Zipファイル内)
9	特許発送書類	出願番号に基づき特許発送書類の実体を取得	200 XML形式 (Zipファイル内)
10	特許拒絶理由通知書	出願番号に基づき拒絶理由通知書を取得	200 XML形式 (Zipファイル内)

MCPサーバの検討

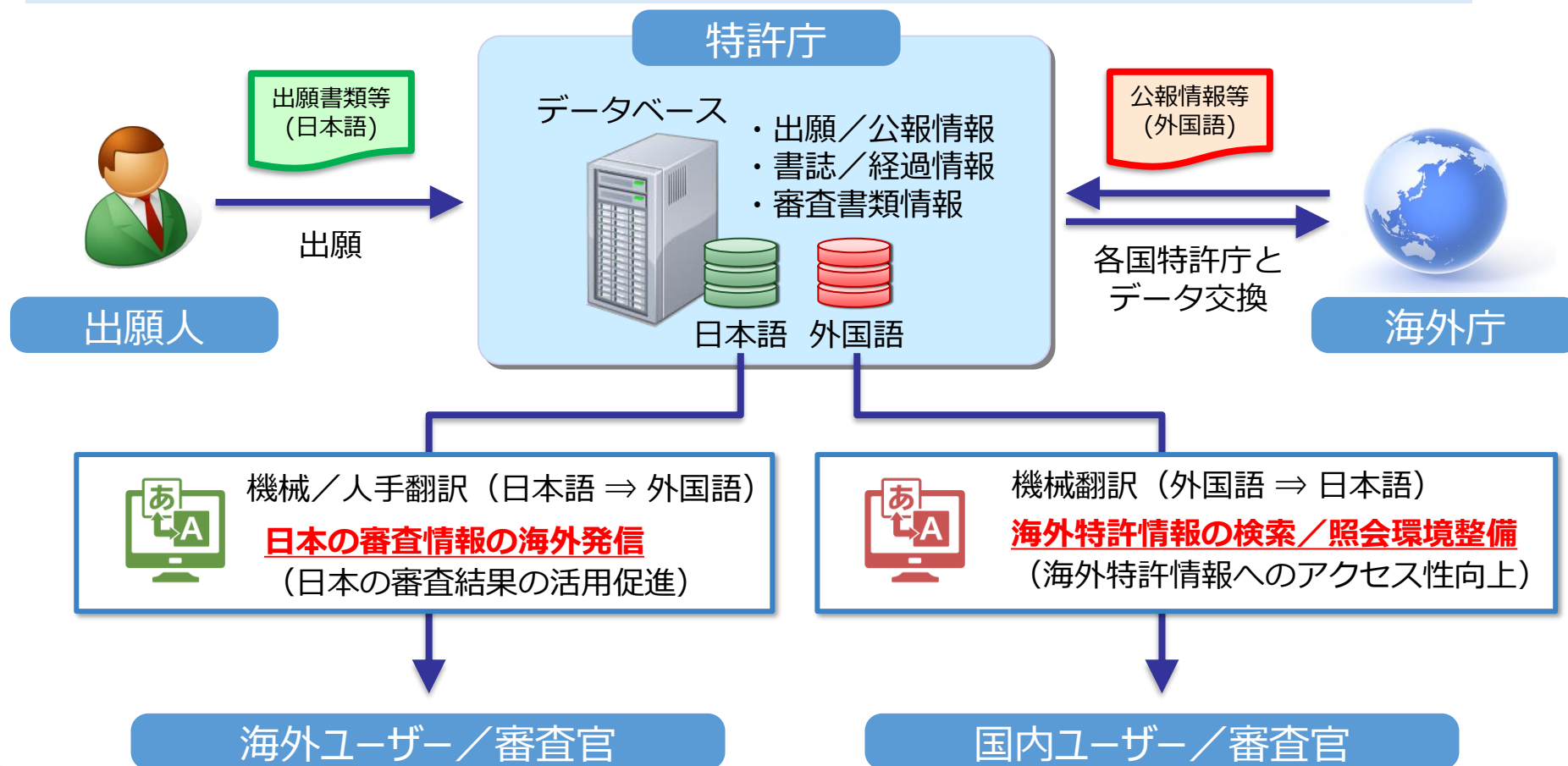
- MCP (Model Context Protocol) : AIエージェントが、外部システム（主にAPI）に接続するための仕様（2024年11月にAnthropic社が提唱、OpenAIやGoogle等も対応）
- AIエージェントが特許情報取得APIからデータを取得できるように、MCPサーバの利用可能性を検討（2026年度に試作、使用感の調査、導入に向けた課題検討）



5. 機械翻訳

翻訳を活用した特許情報提供

- 日本企業等の海外権利取得を支援すべく、日本の審査情報を海外へ発信
- 日本ユーザーの海外特許情報へのアクセス性を向上



特許情報の機械翻訳へのLLM利用可能性の検討

- 現在、ニューラル機械翻訳を利用。将来的なLLM利用可能性を検討するため、2025年度に調査事業を実施
- 翻訳精度は良いが、翻訳速度に課題

調査手順

- 公開情報に基づき、大規模言語モデルについて調査。翻訳の前後処理や、翻訳精度評価手法等、機械翻訳に適用可能な大規模言語モデルの活用手法を調査。
- 3つの大規模言語モデルを選定。機械翻訳を実施し、翻訳精度、翻訳に要する時間等を評価。

調査結果の概要

- 大規模言語モデルによる翻訳精度は、NMTと比して遜色ない。パラメータ数の大きいモデルはより優れるものも確認された。
- 翻訳速度はNMTの方が圧倒的に速い。
- 翻訳速度改善のため、パラメータ数の小さいモデルをベースに追加学習を行うことが提案された。

6. データポータル

データポータルP J の取組み

- 目的：特許庁が保有する I P 情報の庁内外のユーザによる有効活用を促進するため、I P 情報の提供の在り方を見直す

ユーザ体験に着目し、I P 情報の提供の在り方を検討する

- ・ターゲットユーザにあわせた I P 情報の種類
- ・アクセス性・可読性を向上する U I
- ・I P 情報の活用幅を広げる、最新の技術トレンドを踏まえた情報提供手段

(参考) 特許庁デジタル戦略202X “4つの目標”より

➤ **スマートな 洗練されたU Iで**

最新のU I デザインの採用とその柔軟なアップデートを可能とし、直感的でわかり易く、誰もが使いたくなる環境を提供します

➤ **知的に 創造的に**

I P 情報の分析・活用機能の強化や A I の活用推進により、企業の知財活動や特許庁業務をより知的に創造的に変革します

コンセプト・短期/長期アプローチ・アクション

コンセプト

“新たな価値共創”の情報基盤を構築する

“できること”を分かりやすく

“やりたい”をスムーズに

“ステップアップ”の入り口に

短期的なアプローチ

- 裾野を広げるわかりやすいコンテンツを作成する
- IP情報のアクセシビリティが向上する見せ方にする
- IP情報活用のモチベーションを上げる操作性・視認性にする
- 企業等の知財活動を後押しする分析結果を示す

長期的なアプローチ

- IP情報の提供手段を拡充する
- IP情報の情報量を拡充する

アクション

(1) ポータルサイトに情報を集約する

- データへのリンクを集約したワンストップなページを作成する

(2) データを使いやすくする

- データの説明を付与する
- HDD送付以外のデータ入手手段を設ける

(3) 軽い分析を手軽に利用可能にする

- Webサイト上での操作を可能にする

(4) より高度な分析ができるようにする

- IP情報以外の情報と組合せやすいデータにする
- 分析の例を示す

データポータルサイト

Before

トップページ

刊行物・
報告書

年次報告書
ステータスレポート

統計資料

各種統計

制度・手続き

特許情報標準データ
(バルクデータ)

…
…

データ提供
関連

特許情報取得API

After

トップページ

資料・統計

データポータル

ワンストップなポータルサイト
(コンテンツのリンクを集約)

特許庁データダッシュボード

年次報告書
ステータスレポート

ユーザインタラク
ティブなグラフ表示

各種統計

特許情報標準データ
(バルクデータ)

コンテンツのブ
ラッシュアップ・
拡充を随時実施

特許情報取得API

新コンテンツ（データの分析
例・活用例など）※今後検討

J-PlatPat

データポータルの公開（2026年6月30日）

＜データポータル＞

データポータル

データポータルは、特許庁が発信する知的財産情報（IP情報）へアクセスするためのポータルサイトです。特許庁デジタル戦略202Xを踏まえた検討を行い、新たな価値共創の情報基盤として各種IP情報を掲載しています。各種統計情報、検索サービス、バルクデータ等のご利用が可能です。



こちらのデータは、Tableau Publicで表示しています。Tableauのブラウザ（シーボリシー（外部サイトヘリンク））をご覧ください。特許庁データダッシュボードにも複数のデータを選択しています。

統計情報

特許庁 データ ダッシュボード

特許庁データダッシュボード

特許庁行政年次報告書・特許庁ステータスレポートに掲載された産業財産権に関する統計情報をダッシュボードで提供します。

特許行政 年次報告書 2025年度



特許行政年次報告書

知的財産をめぐる国内外の動向と特許庁の取組についてまとめています。

JPO STATUS REPORT 2026



特許庁ステータスレポート

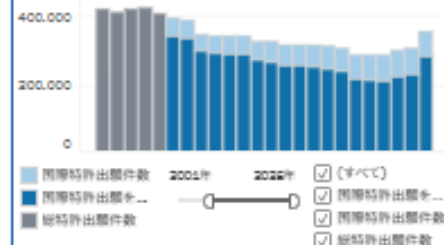
知的財産制度を取り巻く現状や特許庁の取組等をいち早く発信します。全ページで日本語と英語を併記しています。

＜特許庁データダッシュボード＞

日本の出願件数・登録件数

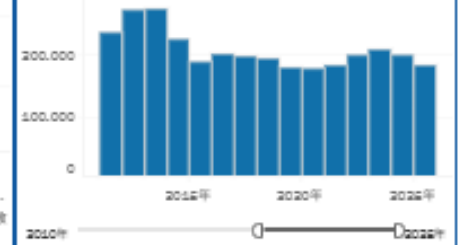
特許出願件数

2025年 特許出願件数
35.8万件



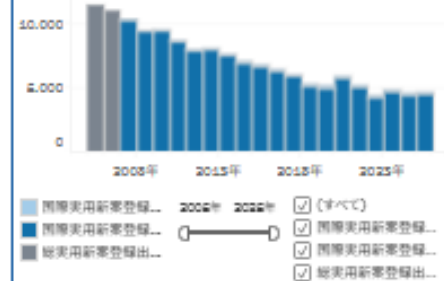
特許登録件数

2025年 特許登録件数
18.4万件



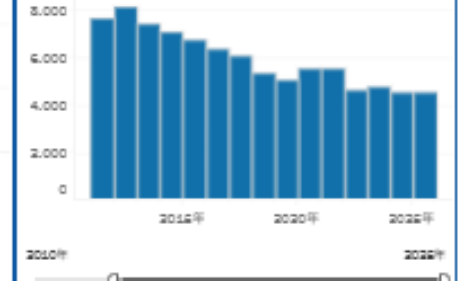
実用新案登録出願件数

2025年 実用新案登録出願件数
4.8千件



実用新案登録件数

2025年 実用新案登録件数
4.5千件



意匠登録出願件数

2025年 意匠登録出願件数
3.2万件



意匠登録件数

2025年 意匠登録件数
2.8万件



ありがとうございました

特許庁 特許情報室

PA0630@jpo.go.jp

